

## 『Studyaid D.B.』で『ポールスター』はもっとおもしろくなる

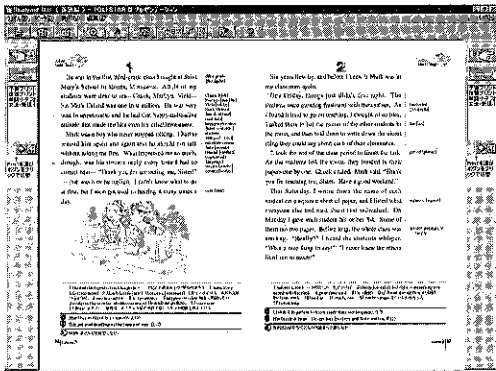
## Studyaid D.B. Q &amp; A

Q 『Studyaid D.B.』はどんなソフトですか？

A 授業支援を目的としたデータベースソフトです。データベースの中から必要なデータを取り出し、それらをもとにプリントを作成したり、教室でプレゼンテーションを行うことができます。

プリントの例として、予習や復習を目的としたもの、単語や熟語、文法などの確認を目的としたものなどがあります。この他にも、授業形態に合わせて、さまざまなプリントの作成が可能です。

また、プレゼンテーションの例として、教室にプロジェクタ等が配備された環境で、教科書レイアウトをスクリーンに投影するというものがあります。簡単なマウス操作で本文を読み上げたり、板書を表示させて構文を解説することも可能です。



▲ スクリーンに投影された教科書レイアウト

Q 収録データにはどのようなものがありますか？

A 教科書、ベーシックノート、レッスンノート、ワークブック、指導用音声CDの大部分のデータとTEACHER'S MANUAL(付属データCD-ROMを含む)の一部のデータ、そしてStudyaid D.B.のみのオリジナルデータ(スライドショー、パートごとのEasy Version、写真や地図等)を収録しています。ポールスターIとポールスターIIを合わせると約2,800問がプリント作成に利用できます。

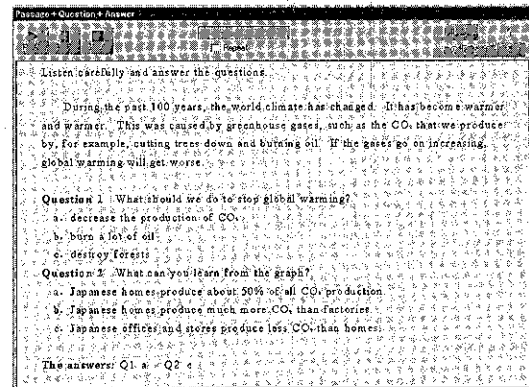
Q 指導用音声CDとStudyaid D.B.では、リスニングの活動をする上で違いはありますか？

A Studyaid D.B.は指導用音声CDのデータの大部分を収録しています。つまり、CDで聞くことができる内容は、Studyaid D.B.でもほぼすべて聞くことができます。また、Studyaid D.B.にはスライドショーやパートごとのEasy Versionなど、オリジナル音声データを収録していますので、Studyaid D.B.を活用すれば、授業展開はさらに広がります。

操作面でいえば、Studyaid D.B.では画面上に表示された教科書の本文や単語をクリックするだけで、音声を再生することができます。小冊子でトラックナンバーを確認する必要もありません。

機能面でいえば、Studyaid D.B.では側注で取り上げられる単語を最小単位で再生することが可能です。つまり、発音に注意が必要な単語は、その単語のみを繰り返し聞かせることが可能なのです。指導用CDでは困難だった単語単位での再生が、Studyaid D.B.では容易に実現できるのです。

さらに、リスニング問題の SCRIPT が表示できるため、内容確認や答え合わせなどが容易に行えるというメリットもあります。



▲ SCRIPT を表示した状態で音声を再生する

Q スライドショーはどのように使うのですか？

A スライドショーとは複数の画像を順番に表示させる機能のことです。Studyaid D.B.では、この画像に合わせて、英語と日本語の2種類のナレーションをご用意しています。

いま仮に、ポールスターⅡのLesson 7を学習するとしましょう。このレッスンでは「フェルミの課題」が扱われています。学習者にとって、物理学者エンリコ・フェルミはふだんあまり耳にすることのない名前のはずです。そこで、本文に入る前に、スライドショーでフェルミに関する情報を学習者に与えてみましょう。

【スライド①】 元素の周期表

学習者のだれもが目にしたことのある元素の周期表に、フェルミの名にちなんでつけられた元素名がある。

【スライド②】 「フェルミの課題」の一例

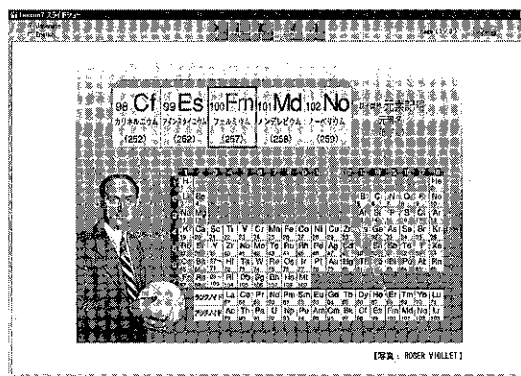
「日本人が一日に消費する茶葉の総量はいくら？」と問いかける。

【スライド③】 フェルミの講義風景

このレッスンを学習すれば、答えを導き出すために有効なフェルミの解法が理解できる。

このように、スライドショーは学習者がそのレッスンを意欲的に学ぶための動機づけとして活用できます。

さらに、このスライドショー機能は、一時停止やスキップなどの便利な機能も備えており、さまざまな展開を可能にします。たとえば、上記のスライド①を再生中に、一時停止して周期表のフェルミウムの1つ前の元素、アインスタイニウムに注目させます。第2次世界大戦中、原子爆弾の開発に関与した2人の科学者の名前がそこに並んでいるのです。また、原子爆弾といえば劣化ウラン。この2人の名前少し前には、不思議にも92番目の元素ウランがあります。フェルミウムの近くにはキュリウム(96番目)やノーベリウム(102番目)もあります。これらの元素名がだれの名にちなんでつけられたものか、言い当てることのできる学習者も多いのではないのでしょうか。聞き慣れないフェルミという名前が、少し身近に感じられるかもしれません。



▲ 【スライド①】 元素の周期表

Q スライドショーでスクリプトを表示できますか？

A 「データベース検索」を利用して表示することができます。まず、スタートメニューから[データベースからの検索] → [データベース検索]と進み、[コース] ページでコースを、[範囲] ページでレッスンを、[キーワード] ページで「スライドショー(スクリプト)」をそれぞれ選択し、「次へ」をクリックします。レイアウトされたプリントを印刷すれば、スクリプトとして活用できます。

さらに、Studyaid D.B.にはデータをWordや一太郎に書き出す機能があります。このスクリプトを書き出した後、Wordや一太郎上で空所を作るなどして印刷したものを学習者に配布します。授業の際にStudyaid D.B.でスライドショーを再生しながら、プリントの空所を埋めさせることで、ディクテーションとしての展開も可能です。

Q 板書の文字を大きくすることはできますか？

A ポールスターⅡでは、板書の文字サイズの変更が可能です。まず、ツールバーの[各種設定] ボタンをクリックします。次に、[プレゼンテーション] タブの「板書画面の大きさに応じて、文字サイズを変更する」にチェックを入れ、スライダを大きい方へ移動させます。最後に、[OK] ボタンをクリックすれば、設定は完了です。(※)。

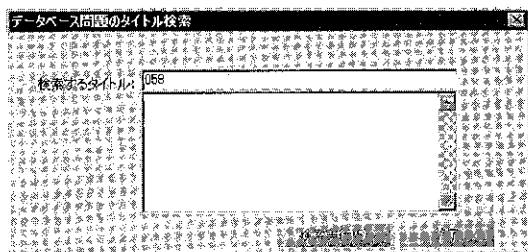
※ Studyaid D.B.はポールスターⅡより、板書画面の拡大表示が可能になりました。ポールスターⅡをインストールしていただいている場合に限り、ポールスターⅠ・Ⅱともに、板書画面の拡大表示機能をご利用いただけます。

Q ページ単位で検索はできますか？

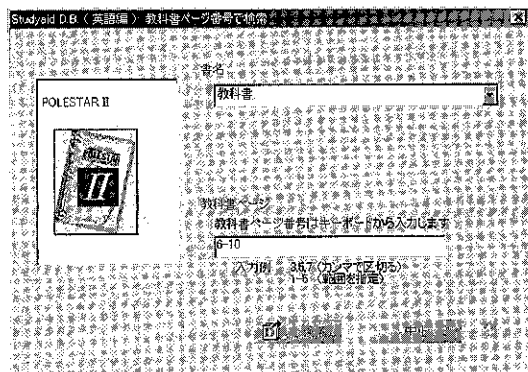
A データベース検索の条件設定時に、[分類]ページでページを基準に範囲を指定することができます。

また、タイトル検索を使えば、より細かなページ検索が可能です。“058”と入力すれば、教科書58ページに関連するデータをすべて取り出すことができます。

なお、*Studyaid D.B.*のポールスターⅡをインストールすると、より詳細なページ指定検索が可能になります(※)。“6,8,15”のようにページ番号をカンマで区切って指定したり、“6-10”のようにページ範囲を指定することも可能です。詳しくは添付の取扱説明書をご覧ください。



▲ タイトル検索の画面

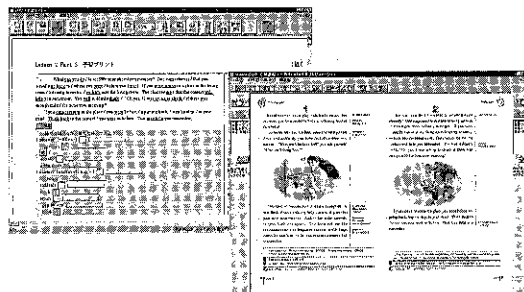


▲ ページ指定検索の画面

※ *Studyaid D.B.*はポールスターⅡより、ページ指定検索が可能になりました。ポールスターⅡをインストールしていただいている場合に限り、ポールスターⅠ・Ⅱともに、ページ指定検索をご利用いただけます。

Q ツールバーの[教科書関連ページ]ボタンは何のためにあるのですか？

A プリント画面から教科書レイアウトにジャンプする機能です。たとえば、多義語の意味を文脈から判断させるために教科書本文を参照したいときに利用します。問題データの1つを選択し(ピンク色になる)、[教科書関連ページ]ボタンをクリックします。すると、その選択した問題と関係のある教科書ページが表示されます。このようにして、本文を参照しながら、文脈から正しい意味を確認することができます。ちなみに、ツールバーの[戻る]ボタンをクリックすると、もとのプリント画面に戻ります。



▲ 問題データを選択

→ 関連ページにジャンプ

Q 検索対象となる問題数を増やすことはできますか？

A *Studyaid D.B.*のポールスターⅠとポールスターⅡをインストールすると、データベース切替により、この2つのデータベースから同一条件で検索をかけることができます。たとえば、“会話表現”という条件で検索をかけると、ⅠとⅡから合わせて143問のデータを取り出すことができます。

高校入試を収録した *Studyaid D.B.* 中学英語(2001~2003)をインストールすると、検索対象となるデータ数がさらに増えます。たとえば、ポールスターⅠを使いながら、関係代名詞に関する問題を補充したいという場合、実際に高校入試で出題された関係代名詞に関する問題を取り出すことができるのです。

*Studyaid D.B.* シリーズすべてをインストールすれば、約6,500問が検索対象となります。

(編集部)